

2021年8月3日

2021年 資源・環境関連材料部会第3回討論会 開催報告

討論会担当 藤村卓也

◎日時 2021年6月24日(木) 13:00~18:10

◎主催 公益財団法人 日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会

◎共催 島根大学

◎場所 オンライン開催(zoom)

◎主旨 資源、環境技術に関する研究成果の発信・議論、研究者の交流・情報共有を目的とし、討論会を開催しました。また特別講演では将来的な異分野連携、研究の多角化や研究者の交流の活性化を見据え、他分野で活躍される先生に話題を提供していただきました。今回は『分析』とテーマとし、環境水の分析に関する特別講演と、多様な分野において重要な分析技術である透過型電子顕微鏡に関する先駆的な研究に関する特別講演を行っていただきました。

◎参加費 (講演要旨集、消費税込み)

一般	2,000円
学生	0円
意見交換会	中止

◎特徴

- ・若手研究者による発表・討論。
- ・島根大学 管原庄吾先生を講師にお招きし、「硫化水素を指標とした汽水湖の水質評価」について特別講演の実施。
- ・島根大学 荒河先生を講師にお招きし、「透過電子顕微鏡による金属における格子欠陥のダイナミクスの研究」について特別講演を実施。
- ・部会役員の選考による最優秀奨励賞1件(佐藤 健 様(東京工業大学))、優秀奨励賞2件(山本 晃大 様(京都工芸繊維大学)、植松 昌子 様(北海道大学, 物質・材料研究機構))を表彰。対象者には賞状の授与。
- ・参加者数50名(講師2名含む)、一般講演14件

## ◎開催結果

本討論会はコロナ禍の影響によりオンライン開催となったが、参加者数(50名)、講演数(一般講演 14 件、特別講演 2 件)ともに前回は上回る盛況であった。講演はいずれの発表も熱意にあふれており、その熱そのままに活発な質疑応答が行なわれた。

菅原先生の特別講演は汽水湖である島根県の宍道湖および中海の水質評価に関するものであり、自然環境調査の実際・独自の評価技術の確立・季節ごとの水質変動調査・気候が水質変動に及ぼす影響などについて発表がなされた。本講演を通し、本部会においても重要な分野である“水環境”の調査方法や汽水域という独特な環境の実態に関する知見を得たとともに、新たな協力関係の構築・実践的研究の促進が期待できるものであったと考えている。荒河先生には透過型電子顕微鏡を用いた金属材料中における欠陥の動的挙動の直接観察に関してご講演いただき、透過型電子顕微鏡を用いた分析技術の最新動向について知見を得た。透過型電子顕微鏡はセラミックス科学分野においても重要な分析技術であることから、本部会関係者の更なる研究の発展につながると考えている。

多様化する環境問題において、将来を見据えた資源・環境技術には異分野連携が重要になると考えられる。今後も異分野連携の促進を目指した取り組みを継続し、本部会の活性化をはかる必要がある。また今回は新型コロナウイルスの感染対策のためにオンラインでの開催としたが、結果として学生の参加が容易になったと推察する。例年本討論会は見学会と同時開催のため、来年度以降のオンライン開催は困難であるが、企画内容によってはオンライン開催を積極的に採用する価値が十分にあると考える。